

学校の教育活動についてのアンケート調査結果について

1 調査に関して

- 実施時期 令和6年1月中旬
- 調査1 全家庭対象 回答率 82.3%
調査方法 本校の教育に関する質問調査（15項目 4段階評価）及び自由記述
- 調査2 全児童対象 回答率 95.6%
調査方法 児童の意識に関する質問調査（16項目 4段階評価）及び自由記述

2 質問調査の結果 は向上が見られた項目（令和4年度との比較）

	調査項目	R4 児童	R5 児童	R4 保護者	R5 保護者
1	子どもは楽しく学校に通っている	3.56	3.60	3.63	3.64
2	子どもは授業が分かっている	3.43	3.42	3.21	3.12
3	子どもは楽しく読書をしている	2.98	3.05	2.38	2.32
4	子どもは家で学習する習慣が身に付いている	3.14	3.17	2.82	2.70
5	子どもは進んで運動している	3.24	3.34	2.85	2.84
6	子どもは履物をそろえている	3.38	3.42	2.62	2.53
7	子どもは早寝・早起き・朝ごはんの習慣が身に付いている	3.59	3.44	2.94	3.06
8	子どもは気持ちの良い挨拶をしている	3.02	3.11	3.00	2.93
9	平日のメディアの使用時間は90分以内である	2.92	2.89	2.51	2.40
10	子どもはいじめをせずに友達と仲良くしている	3.71	3.76	3.77	3.76
11	子どもは自分の良さや成長を感じている	3.16	3.15	3.28	3.23
12	学校は基礎的な学力が身に付くように取り組んでいる	3.61	3.54	3.36	3.39
13	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる	3.65	3.60	3.38	3.40
14	学校は家庭への積極的な情報提供を行っている			3.56	3.50
15	学校は一人一人の子どもを大切にされた教育を行っている	3.58	3.39	3.34	3.34

※ 評価値

4段階評価の「よくあてはまる」を4ポイント、「だいたいあてはまる」を3ポイント、「あまりあてはまらない」を2ポイント、「あてはまらない」を1ポイントで集計した平均値

※ 児童調査

保護者対象の調査項目と同様の質問について児童自身の立場で回答する。

（例）【保護者対象の調査項目】 子どもは、楽しく学校に通っている。

【児童対象の調査項目】 学校に来ることは楽しい。

3 主な自由記述

[学校の指導方針について]

- 小テストや漢字はかせは学力の向上につながっている。今後も継続してほしい。
- 朝読書の時間は続けてほしい。
- スマイル班活動を通じた他学年の子どもとの交流が良い。地域の方との交流も続けてほしい。

- ホームページにより学校の様子がよく分かる。
- クロームブックでの宿題について検討してほしい。

[行事関係について]

- 社会科見学など、地域を知り、視野を広げるような活動が良い学びになっている。
- 金一ナイト（PTA行事）は、とても楽しかった。
- 学年の行事等について学年便りで早めに周知してほしい。
- 参観日の授業を充実させてほしい。

[教師の指導について]

- 子どもとよく会話してくれている。
- 音読カードへの毎日のコメントで学校の様子が分かり、感謝している。
- 欠席に関するサポートが丁寧で有難い。
- 子どもに関する相談にしっかりと対応していただいている。
- 教師によって授業の質や子どもに対する指導の方針が異なっているように感じる。
- 教師としての自覚を持って、真剣に指導や保護者の対応に取り組んでほしい。

4 考察

(1) 成果

- 今年度も「楽しく学校に通っている」に関する評価値が上がり、児童・保護者ともに高い評価となった。5月から新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、縮小していた教育活動が以前のように実施できるようになったためと考えられる。また、スマイル班清掃も始まり、異学年交流が活性化したことが「楽しい学校生活」につながっている。
- 「いじめをしないで友達と仲良くしている」に関する評価値も高く、児童が主体となって「ハッピーワード」を広げている成果が現れている。また、参観日や仲間集会等を通じた人権・同和教育の充実により、友達と仲良く関わる優しい児童の育成が図られている。
- 「小テスト」や「漢字はかせ」等の取組を継続していることが、基礎学力の育成につながっている。
- 昨年度課題であった「読書活動の推進」、「体力の向上」に関して、児童の評価値は向上している。読書ビンゴや体力アップチャレンジなどの取組を通して、児童の意欲が向上してきた。

(2) 課題

- 1人1台端末の活用を中心とした授業改善に努めているが、「授業が分かっている」に関する評価値は、やや低下している。児童自身が「分かった・できた」と自覚できるように、各教科の指導方法を工夫していく必要がある。
- 今年度の調査においても「平日のメディア使用」に関する評価値が低下し、全体の中でも依然低い状況である。今後も家庭との連携を重視しながら、保健指導を中心に使用時間に関する指導を継続していく必要がある。
- 家庭での学習時間や履物をそろえるなど、生活習慣に関する項目の評価値が低い。また、児童の評価値は上がっているが、保護者の評価値が下がっている項目も多く

見られる。より良い習慣がしっかりと定着するよう、ホームページや学年便りを通じて学校の取組をお知らせし、家庭との連携を図りながら継続的に指導していく必要がある。

5 改善事項

[授業改善について]

児童自身が「分かった・できた」と実感できる授業づくりを目指して、今後も教職員の研修の時間を充実させていきます。特に1人1台端末を活用し、自分の考えをしっかりと表現したり、友達の意見を聞いたりするなどの意見交流を通して、理解が深まるような授業改善に努めます。

また、小テストや漢字はかせの取組を継続し、基本的な知識や技能の定着を図っていきます。

[メディアの使用について]

平日・休日を問わず、かなりの時間をゲームや動画視聴に費やしている児童もいるようです。長時間の使用による視力の低下や生活習慣の乱れが気になります。また、低年齢期からのメディア使用による依存傾向やSNSの使用による交友関係のトラブルも心配です。学校では、「保健だより」や「元気きらきらカード」等を使った保健指導の実施や啓発活動を今後も継続していきます。

また、家庭との連携を図り、家庭での過ごし方として読書や運動の奨励も行っています。

[基本的な生活習慣の育成について]

学童期に家庭学習の習慣を身に付けることはとても大切です。学校では、今後も学年+10分を目安とした宿題の提示、自主学習の奨励等に取り組み、児童の意欲化を図っていきます。

また、読書活動の推進や体力向上につながる取組の継続など、読書や運動の習慣化につながる楽しい機会を設定していきます。上述のメディア使用の影響も大きいため、啓発活動を充実させて家庭との連携強化に努めます。

さらに、今年の1月から毎月11（いい）日を「金一いい挨拶の日」としました。気持ちの良い挨拶が校内だけでなく、地域にも広がるよう指導をしていきます。

[情報の発信について]

コミュニティ・スクール2年目となり、昨年度以上に金一っ子サポーターにご協力いただくことが増えました。今後も学校・家庭・地域がしっかりと連携しながら、児童の健全な育成を図っていく必要があります。児童の様子を通じて学校の取組にご理解いただけるよう、学校便りやホームページ等を通じた情報発信に努めていきます。